体験交流と教育民泊から

長野県・南信州

南信州SDGs教育プログラム
民泊と体験交流が生み出す相乗効果

なぜ今、南信州か？

○「主体的・対話的で深い学び」、SDGs理解学習、ESD（持続可能な開発）学習のためのファシリテーター（学習支援者）の養成に積極的に取り組んでいます。

○1996年より全国からの教育旅行の受け入れを開始、29年間の安定した実績。

○全国で初めて農泊を教育旅行に導入（1998年）。第1回オーライ！ニッポン大賞最優秀賞、2017クールジャパンアワード受賞（農泊）。

○南信州観光公社は、飯田下伊那など16市町村が出資し広域行政の協力で受け入れ。

○ラフティングなどの200近い体験プログラムが用意されています。SDGsと学習指導要領～学校教育に求められるもの～

OECD　PISA（2022学習到達度調査81カ国・地域から69万人が参加、15歳対象）が評価する主要な能力で、日本はOECD加盟国中、数学的リテラシー1位（前回1位）、科学的リテラシー1位（前回1位）、読解力2位（同11位）と全て世界トップクラス。この結果をOECDはコロナによる休校日数が比較的少なかったこと、学習指導要領による授業改善効果、学校現場でのICT機器への習熟等を主因として分析しています。

学習指導要領の求める主要な能力は、OECDが実施するPISAの調査目的とリンクしています。既に始まった大学入試制度の改革も以下の点を意識しています。

世の中は「正解のないラシー1位（同2位）、読解力2位（同11位）と全て世界トップクラス。この結果をOECDはコロナによる休校日数が比較的少なかったこと、学習指導要領による授業改善効果、学校現場でのICT機器への習熟等を主因として分析しています。

学習指導要領の求める主要な能力は、OECDが実施するPISAの調査目的とリンクしています。既に始まった大学入試制度の改革も以下の点を意識しています。

世の中は「正解のない問い」に答えを出せる「問題解決能力」や「創造性」を持つ人を求めています。感動体験南信州は、学歴や偏差値でその能力の有無は予測できないものであり、次代を切り拓く青少年には、「認知能力」（IQや学力テストで計測される）ではなく、「非認知能力」がその職業人生においても必要とされると考えます。

これは真面目さ、開放性、外向性、協調性、精神的安定などから構成され、人間力と言い換えてもよいものです。

農家民泊の受け入れ

1998年に全国に先駆けて受け入れを開始して以来、27年にわたり受け入れを行ってきました。地域文化としても定着し、コロナ禍や高齢化の波による受け入れ農家の減少を乗り越え、現在も100軒を超える民泊農家の方々との協力体制を敷いており、1日当たりの最大人数300人を目指します。また、60歳未満の受け入れ農家の全体に占める割合は40%を超えており、将来にわたって継続的な受け入れが可能となっております。

昨年委託業者を変更したラフティングは全国的に例のない、スタート&ゴール地点とも護岸された港と常設の建物内に着替え会場を有し、7人・9人乗りボートで編成しチームワーク醸成を意識した対応を行っています。

2030年以降の学習指導要領の改訂も見据え、自己肯定感の涵養（かんよう）や他者理解の心を育むプログラムをふんだんに用意しています。皆さまのご来訪をお待ちしています。

天竜川ラフティングでチームワークができる

ネギの収穫、ほ場から考える農業のSDGs

地域の伝統芸能を知り、抱える課題について考える（大鹿歌舞伎）

リンゴ畑から循環型農業の効果を知る

株式会社 南信州観光公社
長野県の認定するSDGs推進企業第147号
〒395-0001　長野県飯田市座光寺3349-1
エス・バードE棟2階
TEL 0265-49-4737　FAX 0265-49-4738
URL https://www.mstb.jp/

福井県・若狭路

◆若狭路はあとふる体験の活動目的と理念◆

・一つ、私達は、三方五湖を中心とした美しい若狭地域の自然環境を守り次世代に繋げます。
・一つ、私達は、今を生きることに感謝し、地域の仲間と想いを一つにし、物心共に豊かなまちづくりを目指します。
・一つ、日本の未来を担う子供達の育成に寄与します。
・一つ、常に互いを承認し、責任を持って前向きで逃げない、ひとづくりをおこないます。
・一つ、美浜町を中心に若狭町、敦賀市と共に地域住民が活躍できる場を作り、発展につなげていきます。
・一つ、行政官の縦割り社会を無くし、本気で官民一体となった手本を作ります。

豊かな自然や人の温かさで人としての素敵な心づくりを

若狭路はあとふる体験の舞台となる福井県若狭地域は、五つの湖がつながった「三方五湖」、絶品の魚介類が豊富に取れる「若狭湾」など多くの自然を有する地です。海・山・湖・田の自然に囲まれ、自然と共存する若狭地域での最高の思い出作りをお手伝いいたします。

若狭路はあとふる体験では、「人」と「人」の出会いを大切にしています。ホームステイ、漁家民宿、さまざまな体験プログラムでの多くの出会いは、一人一人の心を大きく成長させるものとなります。ほんの1日、2日の短い時間ではありますが、短い時間だからこそ感じられる喜び、一瞬一瞬を大切にする心を育むことができます。

涙を流して別れを惜しむほどの素敵な出会い、一生の思い出となる感動をご提供します。普段とは異なる生活、食に触れ、一生に一度となるかけがえのない時間を福井県若狭地域で過ごしてみませんか？

また、約50種類にも及ぶ体験プログラムでは、実際に農業や漁業を生業とされている方々にインストラクターをしていただいています。ただ体験するのではなく、農林漁業の現状、抱えている問題を頭と体を使いながら学ぶことができます。若狭路はあとふる体験特有の体験プログラムである「ボート体験」では、チームのメンバーと協力する心、人間関係を構築する能力を育んでいただけます。その他にも、波止釣り体験や田植え体験、伝統味覚体験など、非常にバリエーション豊かな体験プログラムをご用意しております。

そして、若狭路はあとふる体験では、SDGsについて考え、学んでいただける「探究型エネルギー学習プログラム」「探究型人権・人道平和学習プログラム」もご用意しております。これらのプログラムでは、日本のエネルギーやユダヤ難民、ポルトガル孤児の歴史について学んでいただくことができます。

宿泊プログラムについては三つのタイプから選択していただけます。幸福度ランキング1位にも選ばれた福井県の一般家庭の温かみを感じることができる「ホームステイタイプ」、漁村での独特の生活文化を体験することができる「漁家民宿タイプ」、最大200名の受け入れが可能な「旅館タイプ」をご用意しております。まるで自分が家族の一員であるかと錯覚してしまうほど、受け入れ家庭の方々は温かく、楽しく、いっぱいの笑顔で迎え入れてくれます。田舎ならではの生活を目で見て、肌で感じ、充実した時間を過ごしていただけます。

これらの3タイプに加え、今年から既存の宿泊プログラム、体験プログラムに比べ、受け入れ家庭の方々とより長い時間交流していただける「ホームステイ半日交流プログラム」もご選択いただけます。人との出会い、交流の素晴らしさを強く感じていただけるものとなっております。

自然に触れ、温かい人に包まれながら、素敵な心づくりを福井県若狭地域で行ってみませんか？

時間をかけてでも来る価値のあるこの若狭地域での思い出作りを全力でサポートいたします。

しじみ漁体験

ボート体験

楽しいホームステイ

地元の方々のお見送り

一般社団法人 COLORsプラス
（若狭路はあとふる体験）
〒919-1131 福井県三方郡美浜町木野21-4-1
〈㈱旅工房内〉
TEL 0770-32-2222　FAX 0770-32-6667
URL https://tabikobo-jpn.com/
E-mail:tabikobo-all@joy.ocn.ne.jp

滋賀県・日野町・甲賀市・東近江市

近江商人と忍びの心に学ぶ
滋賀県東近江エリア
課題解決型修学旅行を提案

滋賀県の東近江エリア（日野町、東近江市、甲賀市）は、〝売り手よし 買い手よし 世間よし〟の「三方よし」の精神で常に社会貢献の心を忘れず、商いに精進した近江商人発祥の地です。また、甲賀エリアは甲賀忍者の里であり、今なおその末裔（まつえい）たちが自然の中で培われてきた先人の知恵と何事にも耐え、忍ぶ心を受け継いでいる地域でもあります。

近畿の水がめ琵琶湖へそそぐ河川の源流地域の豊かな自然の中で培われてきた「三方よし」と「忍び」の心が今も息づく農村の暮らしの中から、子どもたち自身が「心の豊かさ」を発見し、生きる力をはぐくむ教育旅行をご提供しています。

東近江エリアのうち、近江日野は引率者の本部宿からわずか15分圏内に、東近江エリア、甲賀エリアは約30分圏内に、それぞれ受け入れ家庭が点在しており、最大300名の受け入れが可能です。1軒4名を基本に分宿し、その時期にある作業やものづくりなどを各プランで心の交流を～

東近江エリアの農村生活体験（農泊）と家業おまかせプランは、世代や職業の違う受け入れ家庭の生業、農村のありのままの暮らしを交流の手段にして、多くの会話で心を通わせ、より交流が深まることで、子どもたちの「①コミュニケーション能力の向上」が期待できます。

各家庭ではさまざまな体験ツールを用意し組み合わせることから、受け入れ家庭の数だけ体験があると言っても過言ではありません。また、食生産現場での体験、受け入れ家庭との共同調理、食することによる「②農作業の大変さ、喜び、食育」の理解の促進とともに、家庭との共同作業、共通体験を通して「③達成感や心の豊かさ」をより深く体感いただくことができます。農村生活体験（農泊）と家業おまかせプランを通して、生徒たちの「④リーダーシップの資質向上」「⑤主体性、協調性」を養うプランは数多くの学校さまにご支持いただいています。

体験することが目的ではなく、体験を通して交流を深め、人としての成長を促すことが最も大切だと、滋賀県東近江エリアは考えています。教室の中だけでは学ぶことが難しい「一人ひとりが考え、行動する力」を養うことができる場をご提案いたします。

おかげさまで、東近江エリアで教育旅行の受け入れを始めて15年の経験を積ませていただきました。安全安心、そして教育効果の高い受け入れに向けて地域一丸となって取り組んでいます。皆さまのお越しを心よりお待ちしています。

■課題解決型の修学旅行ご提案～農村生活体験（農泊）と家業おまかせプランで心の交流を～

かんぴょうの皮むき（三方よし！近江日野田舎体験）

かまど体験（忍者の里甲賀田舎体験）

梅の収穫（ただいまステイ東近江）

天ぷらの材料にする野草を収穫

調理体験

農作業の体験

一般社団法人 近江日野交流ネットワーク
〈ワンストップ窓口〉日野町商工観光課内　担当：福本
〒529-1698 滋賀県蒲生郡日野町河原1―1
日野町商工観光課内
TEL 0748-52-6562　FAX 0748-52-8888
E-mail inakataiken@omi-hino.jp
URL https://www.omi-hino.jp/

奈良県・大和飛鳥地域

日本のはじまりの地で民家ステイ
五感で感じ、心で学ぶ

日本はじまりの地で、人と出会い、心のつながりを学ぶ『大和・飛鳥民家ステイ』

「人って悪くないって感じることができた」。これは、昨秋、民家ステイを体験した高校生が残してくれた感想です。私たちは2011年より、この飛鳥の地で教育旅行の受け入れに取り組んでまいりました。これまでに国内から2万9220人、海外から1万8936人もの生徒の皆さまに民家ステイをご利用いただいております。

私たちが提供するのは、単なる宿泊体験ではありません。地域の方々との交流を通じて、「自分を取り巻くすべての人やモノ・コトへの感謝」の気持ちを育む「民家ステイ」を主軸に、田植え体験などの各種体験プログラム、日帰り街歩きプログラムなど、生徒の皆さまの五感を刺激し、学びを深める多彩なメニューをご用意しております。

「大和飛鳥地域で、『つながりを感じられる』ようにするための取組み」

①「民家ステイ」と「SDGs」のつながり～キーワードはサステナビリティ～

一人一人が、「世界を構成する一員であること」を自覚して、行動を起こす」というSDGsの精神は、「自ら考えて行動すること」が求められる民家ステイの理念に重なります。また、田舎暮らしの知恵の中には、SDGsの取り組みに直結することがたくさんあります。

里山の豊かな自然と歴史風土を守る飛鳥地域では、大規模宿泊施設の建設ができない等、さまざまな景観規制がかかっています。そのような地域活性化を生かせる地域活性化事業として、官民連携し当事業に取り組んでいます。民家ステイ利用が、地域を支え里山を守る一助となることを、事前事後学習並びに当地での体験を通して学びます。※より深い学びを得ていただくために、事前学習用ワークシートをご準備しています。

②飛鳥地域とSDGsのつながり～地元の人とより詳しく地域を知る『里ぶら・歴史ウォーク』～

村内全域が国の特別立法により景観保全地区に指定されている唯一の自治体・明日香村。地元在住の「里ぶらファミリー」と一緒に飛鳥地域を旅します。日本はじまりの地「飛鳥」の深い歴史、豊かな自然、そして人とのつながりを体感しながら気づきを深めることがコンセプトです。1400年以上も前から、先進的な取り組みがなされてきた飛鳥では、海外から最先端の技術や文化を受け入れるだけでなく、女性天皇が立つなど女性も活躍できていました。現代の私たちが直面しているSDGsの課題と比較しながら、学びを深めることができます。

なぜ、今、大和飛鳥ニューツーリズムの民家ステイなのか？

情報過多な現代において、生徒の皆さまが本当に必要としているのは、五感で感じ、心で学ぶ「ほんものの体験」ではないでしょうか。飛鳥の豊かな自然と歴史、そして温かい人々との触れ合いは、生徒の皆さまにかけがえのない気づきを与えます。温かい「人とのつながり」の中で「優しさや希望」を感じてほしい。「人って悪くない」と心から感じられるような、かけがえのない思い出を作ってほしい。大和飛鳥ニューツーリズムは、この思いを胸に未来を担う生徒の皆さまの成長を全力でサポートしてまいります。飛鳥の地で皆さまをお迎えできることを心よりお待ちしております。

大和飛鳥ニューツーリズムでは、SDGsの④質の高い教育をみんなに⑪住み続けられるまちづくりを⑰パートナーシップで目標を達成しようをターゲット目標とし、教育旅行の受け入れと人材育成事業に日々まい進しております。

飛鳥で人とのつながりを実感！

田植え体験

石舞台古墳に学ぶ

一般社団法人 大和飛鳥ニューツーリズム
〒634-0112 奈良県高市郡明日香村島庄5番地
TEL 0744-54-1525　FAX 0744-54-1526
E-mail:info@yamatoasuka.or.jp
URL:https://yamatoasuka.or.jp/